

栄養管理部

スタッフ紹介

副部長(兼) はまぐち 眞英 (内分泌・糖尿病・代謝内科 講師)
副部長 おかがき 岡垣 雅美 (栄養士長)
部 員 医師 1名、薬剤師 2名、管理栄養士 16名、栄養士 4名、
事務補助職員 1名

栄養管理部の理念・基本方針

理 念：安全で効率の良い医療のための栄養管理を実践する
基本方針：1. 病状の早期回復のため栄養面からサポートする
2. 患者様の快適な入院生活をサポートする

私たちの業務

◆ 食事サービスと栄養管理

- ① 病院食は、疾病の治癒・改善を図るための医療行為の一環ですが、食の楽しみとして、患者さんのQOLの向上や心情をサポートできるよう「おもてなしの心」が感じられる食事の提供を目指しています。
- ② 季節ごとの行事には、行事食をお出しします。
- ③ 個々の入院患者さんの栄養状態や健康状態に合わせた栄養管理を実施しています。栄養状態の評価にはGLIM基準をとり入れています。
- ④ 病状により食欲が低下している場合は個別に対応します。
- ⑤ 必要に応じて、栄養管理や食事内容の情報提供書を作成いたします。

◆ 栄養食事相談

それぞれの疾患にあわせた食事療法について指導をおこなっています。患者さんの普段の食生活や食事への思いを伺い、日常生活のなかで無理なく食事療法を続けてもらえるようサポートをしています。

・栄養指導（外来・入院）

外来では、診察で栄養指導が必要となった場合は指導を受けることができます。診察ごとに継続して指導をうけることも可能です。また、入院された方には必要に応じて指導を実施しています。退院後通院される場合には外来で継続して指導をうけることも可能です。

指導例：糖尿病、腎臓病、心臓病、高血圧、がん、低栄養、肝疾患、脂質異常症、肥満症、消化管術後 など

・教育入院栄養指導（糖尿病教育入院、腎臓病（CKD）教育入院）

入院プログラムにあわせ、複数回の指導をおこなうことで退院後も食事療法が継続できるようにしています。

・小児栄養指導（先天性疾患、小児肥満、離乳食、食物アレルギーなど）

・透析予防指導

上記以外でも、食事や栄養の相談に幅広く対応しています。

◆ NST（Nutrition Support Team）栄養サポートチーム

患者さんの栄養状態を評価・判定し、改善が必要な場合には、NSTがお手伝いします。

栄養状態の改善は合併症の減少、在院日数の短縮にも効果が期待できます。

◆ 専従、専任管理栄養士の配置

消化器センター等、3病棟においては専従の管理栄養士を、ICUにおいては専任の管理栄養士を配置しています。

府立医大 栄養管理部 TEL 075-251-5240（部員室）